

こんにちは



『お祭り大好き!!』

朝岡まさ子さん
大正1年8月13日生 102歳。

ご主人とお子様を早くに亡くし、今は施設でお暮らします。
りんりんのご縁は足掛け7年になります。

生まれも育ちも亀崎。しかも山車蔵の裏にお住まいだったこともあってか、今でも大のお祭り好き。「お囃子を聞くとわくわくしてくる」「私が男だったら山車を曳きたかった」と山車を曳く真似をされる。亀崎の春祭りの山車曳きは“男しか参加できない、山車の綱に女は触れてもいけない”、という厳格な伝統を守っている‘男まつり’なので、まさ子さんには叶わぬ望みでした。そのかわり夏には‘女まつり’があって、昔は、山車に芸妓さんが乗って町中を回る姿がみられ、大いに楽しんだそうです。

今年も3月末の串あさり作りが終わると、そのお祭りを楽しみに待ちながら、毎年4月には巻寿司(具を用意してもらって)を作ります。5月の亀崎まつり、7月末の女まつり、秋のお彼岸の墓参り、年末の餅つきと、ご自分なりの季節の行事を楽しみながら、そして時にはお得意の「南国土佐をあとにして」や「伊勢音頭」を口ずさみながら、まさ子さんの日々は穏やかに過ぎていきます。

目下の楽しみは、ヘルパーさん訪問時に必ず買ってきてもらう‘亀崎饅頭’を食べること。自宅でお暮しの時は毎日食べていたというほどの大好物です。お魚も大好きで、出される食事でも好き嫌いなく食べます。「体が丈夫で、おいしくご飯を食べることができてありがたい。皆さんのおかげです。また2年寿命がのびました」と手を合わせるまさ子さんです。

家族がいるから寂しくないわけではない。家族がいなくて寂しいわけではない。・・・そんなことをふと考えたひとときでした。

平成26年(2014) 4月

No.59

発行/特定非営利活動法人 りんりん
半田市岩滑高山町5丁目4番地
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援が
りんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

間瀬 昭 村上真喜子 (敬称略)

総会のお知らせ

日時 5月25日(日)10時~12時
場所 りんりん1階

会員の皆様の出席よろしく願いいたします。

26年度年会費納付のお願い

年会費の更新の時期になりました。今年度もご支援
くださいますようよろしくお願いいたします。

年会費 3,000円

～ ヘルパー研修会 ～

- 1月 「聴覚障がい者への基礎知識」 45名
- 2月 「認知症高齢者への対応」 47名

多世代交流事業

	1月	2月	3月
絵手紙	8名	13名	17名
さをり織り	31名	21名	33名
生き生きサロン	161名	155名	145名
小物づくり	11名	12名	12名

(延べ利用人数)

会員数

協力会員	利用会員	賛助会員	合計
125名	61名	46名	232名

(H26/3月末現在)

特定非営利活動法人 りんりん



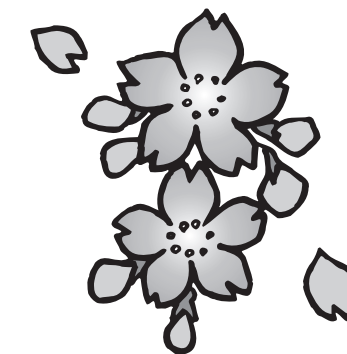
～何から始めましょうか?～

この春、入学式・入社式を迎えられたみなさんおめでとうございます。新しい門出にワクワクされていることでしょう。りんごクラブにも10人の新1年生が加わりました。自分の体よりも大きなカバンを背負って「ただいま!」とりんごハウスに帰ってくる子どもたちから元気もらっています。

また3月に出席させていただいたある学校の卒業式では、I君のすてきな答辞を聞くことができました。「みんなでがんばったことは、たすけあいです。『ありがとう』『いいよ』みんなに言われてうれしかったです。ぼくたち3年生は、みんな仲良しです」と。これはりんりんがずっと大切にしていることで‘大人になっても今の気持ちを忘れないでね’と思い

を込めて大きな拍手でエールを送りました。それと同時に、私たち大人にはI君たちの健やかな成長を支える責任があると強く思いました。

岩滑のまちには、すでに防災や「ごんの灯り見守り活動」から助け合える関係が高齢世代間では出来つつあり、大



変心強い地域です。これからこの助け合いの関係を子どもたちやその親御さんたち若い世代とどんなふうに繋げていけるか、高齢世代の力をどこで活かせるか、若い世代に問いかけて進めたいと思います。

インターネットで検索すればサービスは簡単に買えるけれど、“顔も知らない人にネット上で子守を頼まなくてもいいように、困った時にはお互いさまと、世代を越えて助け合えるように”。さて何から始めましょうか…!

代表 下村 裕子

近隣の見守りシステム 「ごんの灯」の今

平成23年から岩滑区、社協、りんりんで協働しておこなっている助成金事業は3月末で終了しました。

平成24年に岩滑区で開催されたワークショップに、りんりんも地域の一員として参加しました。そのとき見えてきた課題は、高齢者世帯が占める割合が非常に多くなってきたことです。その中で、住民の安否を知らせる緊急時通報システムが必要との意見がまとまったのです。そのための様々な方法を模索をするなか、各戸に電球を取り付けることによって住民同士が見守りつつ見守られるシステム「ごんの灯り」を導入することになりました。日本生命財団の助成を受けて平成25年に始まった「ごんの灯り」は岩滑全体に広がり、現在140件の家々を照らしています。昼間は青色、夜はオレンジ色に切り替わるこの灯りは、ご近所同士の会話が増えるきっかけになったり、ご近所の安否確認のために散歩が増えたりと、地域住民をつなぐ役割も果たしています。

今年3月21日に各地区の代表者による“見守り活動”の発表がありました。前向きな様子が多く語られたなか新たな課題も浮かんできました。もし住民に万が一のことがあったときの連絡先やルールの徹底です。岩滑区がこのテーマに向かい合うことは、さらに住民が暮らしやすい地域へと進化していくことになるのでしょう。

そして岩滑区の「ごんの灯り」の取り組みは、11月22日に大阪国際交流センターにおいて、全国発表されます。



イオン “幸せの黄色いレシートキャンペーン”

平成25年度の“幸せの黄色いレシート”の合計が1,201,062円になりました。うち1%に相当する12,000円のイオンカードがいただけることになり、“茶屋”の調理器具等を購入する予定です。

会員様、イオンのお客様、“黄色いレシート”をたくさんご投函いただき本当にありがとうございました。

親子DEランチ

3月3日おひな祭りの日にりんりん茶屋企画にて“親子DEランチ”を開催しました。小さな子どもを連れたママたち6組が来てくれました。

メニューは“サロンごえん”のメンバーお手製の手まり寿司。

100個ほど並んだお寿司は、壮観！の一言でした。メンバー自慢の漬物も大人気！漬物が大好きな子もいていくつも口に入れていました。

初めて顔を合わせたママたちや子どもたち。しばらくすると一緒に遊ぶ姿が愛らしく、心和むひとときでした。



参加の皆さん



いくつたべられるかな？



色とりどりの手まり寿司



“ごえん”のメンバー

生き活きサロン

美味しい料理と楽しい会話を
楽しみましょう。
地域の方、会員以外の方
どなたでも参加できます。

毎週 水・木
ランチ 500円

※数に限りがあります。
前日までに予約してください。



ヘルシーで
おいしいと
評判

介護者の茶話会

2月21日(金)にりんりん茶屋にて介護者の茶話会を開催しました。

9回目になる今回も介護者の方たちに少しでもリフレッシュしてもらえるようにと企画しました。

参加者4名の内3名が初参加の男性でした。奥様やお母様の介護をしている方達とご主人の介護をしている方、男女の違いはあるけれど同じ介護者としての立場で話はずんでいました。

「整膚*」で身体のリラックス、脳トレーニングと会話で脳と心の活性化ができ、その後の昼食もみんな美味しくいただきました。

これからも介護者の方達に喜んでいただける茶話会を企画していきます。

*皮膚を刺激して体調を整える療法



“サロンごえん”と“やなべお助け隊”

1月6日「サロンごえん」にて「やなべお助け隊」は薪を使って豚汁を作りました。薪は子どもたちの注目を集めました。

参加者は全部で50人ほど。この日はまだ冬休み中で「りんごクラブ」の子どもたちも一緒に豚汁を食べました。中には5～6杯おかわりする子もいて、大好評でした。



“はそり”なべて



“お助け隊”のみなさん



薪を使って



“ごえん”のみなさん